

2013年7月12日

**プレスリリース【東進ハイスクール・東進衛星予備校】**

**33名の日本を代表する教授陣が集結！  
8月21日(水)『大学学部研究会』開催します！  
～この夏、最先端の学問と夢に出会うために～**

大学受験予備校東進ハイスクール・東進衛星予備校を運営する株式会社ナガセ(本社:東京都武蔵野市)は、高校生に、「偏差値ではなく学ぶ内容で大学・学部を選んでほしい」、また「夢を見つけるきっかけとしてほしい」という思いを込めて、8月21日(水)に『大学学部研究会』(主催:東進、会場:東京国際フォーラム)を開催します。

東進が大学学部研究会を開催するのは今年で5回目。日本を代表する一流教授陣が一堂に会し、人生を懸けて取り組む研究内容を高校生に対して熱く語る貴重な機会であり、毎回大変好評をいただいております。

東進では、夢はやる気の原動力であり、夢を見つける第一歩は、自らの興味・関心を掘り下げることからだと考えています。是非、この大学学部研究会の機会を通じて、各分野の最先端で活躍されている先生方の講義を受けて、自分が将来どのようなことに取り組みたいかという夢を見つけ、膨らませてほしいと考えています。

**【前回の様子】**



## ■開催概要

◆日時: 8月21日(水)

開場 10:00/開演 11:00

1 限 11:00～12:20

2 限 12:50～14:10

3 限 14:40～16:00

最大3講演に参加できます。

◆対象: 高2生、高1生、中学生、ご父母

高等学校、中学校の先生もご参加頂けます。

◆参加費: 無料[要申込み]

◆会場: 東京国際フォーラム[有楽町]

◆受付開始: 7月13日(土)

◆申込方法: ウェブサイト ([http://www.toshin.com/hs/event/daigaku\\_gakubutai kou/index.php](http://www.toshin.com/hs/event/daigaku_gakubutai kou/index.php))



※各講座とも定員制です。座席のなくなった講演はお申し込みを締め切らせて頂きますのでお早めにお申し込みください。

## ■講演者一覧

	名前	所属		講演テーマ	プロフィール
1 限	永田 潤子先生	大阪市立大学	大学院 創造都市研究科 准教授	公共政策	海上保安大学校初の女子学生として入学・卒業。巡視艇船長、行政官を経て、埼玉大学大学院政策科学研究科(現:政策大学院大学)、大阪大学大学院経営学研究科後期課程にて公共政策、経営学、意思決定を研究。海上保安大学校助教授を経て2003年から現職。国や地方自治体の委員のほか、企業や中学高校での講演なども。
	鬼頭 秀一先生	東京大学	大学院 新領域創成科学研究科 教授	環境倫理学	東京大学理科Ⅱ類に入学し、薬学部に進学し、薬学系(理系)と理学系(科学哲学・社会学、文系)の両方の大学院を修了し、理系の基礎に立って、「環境」の社会的・倫理的な問題、科学技術社会論を研究している。環境社会学会会長、日本学術会議で環境学委員会の環境思想・環境教育分科会会長をつとめる。
	大西 広先生	慶應義塾大学	経済学部 教授	経済学	東大寺学園高校卒業、京都大学経済学部入学、その後同経済学研究科修士・博士課程を経て、1989年経済学博士(京都大学)。立命館大学助教授、京都大学経済学部助教授・教授を経て現職。その他、世界政治経済学会副会長、現代中国学会常任理事、北東アジア学会副会長、国際アジア共同体学会副理事長などを務める。

1 限	香川 利春先生	東京工業大学	精密工学研究所 教授	圧縮性流体の計測制御	1974年東京工業大学制御工学科卒業。同年北辰電機製作所入社、1976年東京工業大学制御システム工学科助手、同講師、同助教を経て現在、精密工学研究所及びメカノマイクロ工学専攻教授として自動制御・流体計測制御・生体計測の研究に従事。
	江崎 浩先生	東京大学	工学部 電子情報工学科 / 大学院 情報理工学系研究科 教授	インターネット	1987年九州大学電子工学専攻修士了。1987年-1998年(株)東芝。1991年米国Bellcore社、1994年米国コロロンビア大学 客員研究員。1998年東京大学助教授。2005年情報理工学系研究科教授。WIDEプロジェクト、東大グリーンICTプロジェクト、Live E! プロジェクト代表。
	岡野 光夫先生	東京女子医科大学	副学長・教授 / 先端生命医学研究所 (TWIns) 所長	再生医療	早稲田大学大学院を修了(工学博士)後、東京女子医科大学助手、助教授、1994年教授。ユタ大学併任教授。2001年同先端生命医学研究所所長、2012年同副学長に就任。2005年日本学術会議会員、2011-2013年内閣官房医療イノベーション推進室室長代行。1992年日本バイオマテリアル学会賞、2005年江崎玲於奈賞、2009年紫綬褒章受賞など。
	篠原 久典先生	名古屋大学	大学院 理学研究科 教授・理学研究科長	ナノサイエンス	1979年京都大学大学院理学研究科博士後期課程中退(理学博士)。自然科学研究機構分子科学研究所助教、三重大学工学部准教授を経て、1993年より名古屋大学大学院理学研究科教授。2000年名古屋大学高等研究院教授(併任)。専門はナノカーボンのナノサイエンスとナノテクノロジー。
	高西 淳夫先生	早稲田大学	理工学術院 創造理工学部 総合機械工学科 教授 / ヒューマノイド研究所 所長	ロボット工学	早稲田大学理工学部機械工学科卒業、同大学大学院博士後期課程単位取得退学。工学博士。早稲田大学専任講師、助教授を経て現在に至る。マサチューセッツ工科大学客員科学者、ヒューマノイド研究所所長、北京理工大学名誉客員教授、聖アンナ大学院大学学外理事、日本咀嚼学会常任理事、日本ロボット学会副会長なども務める。
	加藤 泰浩先生	東京大学	大学院 工学系研究科 エネルギー・資源フロンティアセンター / システム創成学専攻 教授	地球環境学	1961年、埼玉県生まれ。埼玉県立浦和高校卒。1981年、東京大学理科II類入学。1990年、東京大学理学系研究科博士課程修了(理学博士)。日本学術振興会特別研究員、山口大学理学部助手、ハーバード大学およびケンブリッジ大学客員研究員、東京大学工学系研究科助教授、准教授を経て、2012年より現職
平山 康先生	早稲田大学	国際教養学部 教授	古生物学	1956年生まれ 東京都出身 1979年 慶応義塾大学経済学部卒業 1989年 京都大学大学院後期博士課程中退 1989年 帝京技術科学大学講師 1996年 帝京平成大学助教授 2004年 早稲田大学国際教養学部助教授 2006年 早稲田大学国際教養学部教授	

2 限	小林 節先生	慶應義塾大学	法学部 教授	法学	慶應義塾大学法学部兼大学院法学研究科教授。法学博士(慶大)、名誉博士(モンゴル、オトゥゴンテンゲル大)。弁護士。日体桜華高等学校校長。東村山市総合計画審議会会長、一般社団法人インターネット関連事業健全化協議会理事長、一般財団法人日本コンテンツ倫理協会評議員会議長、医療法人社団寿会監事、エリアリンク株式会社社外取締役。元・ハーバード大研究員、ミシガン大研究員、ブリティッシュ・コロンビア大研究員、北京大招聘教授、日本財団理事。
	明和 政子先生	京都大学	大学院 教育学研究科 准教授	心理学	京都大学教育学研究科博士課程修了、博士(教育学)。JST 科学技術振興機構 ERATO岡ノ谷情動情報プロジェクト情動発達グループリーダー。京都大学霊長類研究所研究員、滋賀県立大学人間文化学部専任講師などをを経て、現職。
	飯塚 正人先生	東京外国語大学	アジア・アフリカ言語文化研究所 教授・副所長 東京大学大学院 人文社会系研究科 (附属次世代人文学開発センター) 客員教員	歴史学 (イスラム)	東京大学文学部卒業、同大学大学院人文科学研究科第一種博士課程中退。在エジプト・アラブ共和国日本国大使館専門調査員、東京大学文学部助手、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所助手、同助教、准教授(職名変更)を経て現職。
	和泉 伸一先生	上智大学	外国語学部 英語学科 / 言語学大学院 教授	応用言語学	東京国際大学教養学部卒業(在学中に南オレゴン大学へ留学)。日本で英語教育に従事した後、南イリノイ大学へ留学、M.A.、ジョージタウン大学にて、Ph.D. in Applied Linguistics 取得。南イリノイ大学日本語講師、ジョージタウン大学言語学講師、ハワイ大学マノア校客員研究員を経て現職。
	丸山 剛生先生	東京工業大学	大学院 社会理工学研究科 准教授	スポーツ工学	1985年3月 筑波大学大学院修士課程体育研究科修了 1985年4月 東京工業大学工学部一般教育等保健体育群助手 1993年8月 同 講師 1996年5月 東京工業大学大学院社会理工学研究科人間行動システム専攻 助教授 2007年4月 同 准教授 現在に至る。
	増井 俊之先生	慶應義塾大学	環境情報学部 教授	ユーザインタフェース	東京大学大学院工学系研究科電子工学専門課程修士課程修了 富士通、シャープ、ソニーコンピュータサイエンス研究所、産業技術総合研究所で計算機のユーザインタフェース関連の研究開発を行う。米国Apple Inc.にてiPhoneの開発に従事後、現職。
	中山 健夫先生	京都大学	大学院 医学研究科 社会健康医学系 専攻 健康情報学分野教授	健康情報学	東京医科歯科大学医学部卒業、米国UCLA フェロー、国立がんセンター研究所室長(がん情報研究部門)、京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻助教授を経て現職。根拠に基づく医療(EBM)・診療ガイドラインに関する厚生労働科学研究班の代表研究者、日本疫学会理事、日本ヘルス・コミュニケーション学会代表、NPO 法人健康と病いの語りデバイス・ジャパン、同日本メディカルライター協会、同日本インターネット医療協議会、同EBH 推進協議会の理事。
藤田 一郎先生	大阪大学	大学院 生命機能研究科 教授	認知脳科学	東京大学理学部卒業、同大学院理学研究科博士課程修了(理学博士)。岡崎国立共同研究機構生理学研究所、カリフォルニア工科大学、理化学研究所、新技術事業団を経て、大阪大学医学部教授。2002年より現職、2013年より脳情報通信融合研究センターを兼任。	

2 限	宮田 昌悟先生	慶應義塾大学	理工学部 機械工学科 准教授	再生医工学	1999年東京大学工学部卒業。2004年東京大学大学院修了、博士(工学)取得。東京大学工学部助手、九州工業大学大学院生命体工学科助教を経て、2008年より慶應義塾大学理工学部専任講師、2012年より聖マリアンナ医科大学客員研究員、2013年より現職。
	伊原 学先生	東京工業大学	大学院 理工学研究科 化学専攻 准教授 (炭素循環エネルギー研究センター兼務、環境エネルギー機構、太陽光発電システム研究センターにも所属)	環境・エネルギー	東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。東京大学助手、東北大学助手、科学技術振興機構 さきがけ研究員兼任、東京工業大学助教授を経て現職。2012年 フランス国立応用科学院リヨン校(リヨン大学、INSA de Lyon)の客員教授兼任。ダイヤモンド薄膜の気相合成で博士の学位取得、その後一貫してエネルギー変換の研究、具体的には燃料電池、太陽電池の基礎研究およびデバイス研究。最近では、CO <sub>2</sub> 排出量を約60%削減できる東工大環境エネルギーイノベーション棟におけるエネルギー設備・システムの設計を行う。
	胡桃坂 仁志先生	早稲田大学	先進理工学部 電気・情報生命工学科 教授	生命科学	東京薬科大学薬学部卒業。埼玉大学大学院理工学研究科 博士号取得後、アメリカ合衆国国立保健研究所に勤務。理化学研究所に研究員として帰国後、現職。
3 限	藤原 焔一先生	東京大学	法学部/大学院 法学政治学研究科 教授	国際政治	東京大学大学院博士課程単位取得中退。イェール大学博士課程に留学後、千葉大学助教授、東京大学社会科学研究所助教授を経て、1999年から現職。著書に『戦争を記憶する』、『デモクラシーの帝国』、『国際政治』、『平和のリアリズム』(石橋湛山賞受賞)、『戦争の条件』など。日本比較政治学会元会長。
	町田 健先生	名古屋大学	大学院 文学研究科 教授	言語学	1979年 東京大学文学部卒業 1986年 東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得 東京大学助手、愛知教育大学、成城大学、北海道大学助教授を経て、2000年より名古屋大学大学院教授
	田中 優子先生	法政大学	社会学部 教授 国際日本学インスティテュート(大学院)教授	日本近世(江戸時代)文化	1980年4月 法政大学第一教養部専任講師 1983年4月 同学部 助教授 1986年 『江戸の想像力』で芸術選奨文部大臣新人賞 1991年4月 法政大学第一教養部教授 2000年 『江戸百夢』で芸術選奨文部科学大臣賞・サントリー学芸賞 2003年4月 法政大学社会学部教授 2005年度 紫綬褒章
	河添 房江先生	東京学芸大学	教育学部 教授	日本古典文学	東京大学文学部卒業、同大学院人文科学研究科修士課程修了、博士(文学)。現在、一橋大学大学院言語社会研究科連携教授を兼任。
	木村 和彦先生	早稲田大学	スポーツ科学学術院 教授	スポーツ経営学	1987年 筑波大学博士課程体育科学研究科単位取得退学 1988年 電気通信大学自然科学系講師 1999年 早稲田大学人間科学部助教授 2003年 早稲田大学スポーツ科学部教授 2003-2007年 東京都スポーツ振興審議会委員 2009-2013年 中央教育審議会スポーツ青少年分科会委員
	小池 康博先生	慶應義塾大学	理工学部 教授 慶應義塾大学 フォトニクス・リサーチ・インスティテュート 所長	高分子科学	1982年 慶應義塾大学大学院博士課程修了(工学博士) 1989-1990年 米国ベル研究所訪問研究員、97年~現職 2000-2005年 JST ERATO 総括責任者、 2005-2010年 JST ETATO-SORST 研究総括 2010年~ 内閣府 最先端研究開発支援(FIRST)プログラム中心研究者 藤原賞、紫綬褒章等を受賞
	澤 芳樹先生	大阪大学	心臓血管外科 教授	心臓血管外科学	1980年大阪大学医学部卒業。医学博士(大阪大学)。1989年フンボルト財団奨学生としてドイツMax-Planck研究所心臓外科部門に留学。2010年より大阪府医師会副会長。大阪大学MEIセンター センター長。2012年大阪大学医学部附属病院未来医療開発部部長、2013年附属病院ハートセンター センター長、附属病院国際医療センター センター長、大阪大学大学院医学系研究科副研究科長に就任、現在に至る。
	吉村 泰典先生	慶應義塾大学	医学部 産婦人科 教授	生殖生理学	1975年 慶應義塾大学医学部卒業 1983年 米国ペンシルバニア病院リサーチフェロー 1984年 米国ジョンスホプキンス大学インストラクター 1986年 藤田保健衛生大学医学部産婦人科専任講師 1990年 杏林大学医学部産婦人科助教授 1995年 慶應義塾大学医学部産婦人科教授
	片岡 一則先生	東京大学	大学院 工学系研究科/医学系研究科 教授	高分子材料	1979年東京大学大学院工学系研究科合成化学専攻博士課程修了。工学博士。東京女子医科大学助手、助教授、東京理科大学教授を経て、1998年より東京大学大学院工学系研究科マテリアル工学専攻教授。2004年より同大学院医学系研究科疾患生命工学センター教授併任。
	森成 隆夫先生	京都大学	人間・環境学研究科 准教授	理論物理学	東京大学工学部物理工学科卒業、東京大学大学院工学系研究科物理工学専攻博士課程修了、工学博士。京都大学基礎物理学研究所助手、助教、アメリカ イェール大学客員研究員を経て現職。専門は物性理論。高温超伝導の理論、量子流体を用いたブラックホールアナロジー、固体中のディラック電子系などの研究を行っている。
梶 光一先生	東京農工大学	大学院 農学研究院 教授	生態学	東京農工大学教授。北海道環境科学研究センターを経て現職。エゾシカ、ツキノワグマ、ヒグマ;イシジなどの大型獣を対象に、人と野生動物が共存する仕組みを考えるために、生態学的な研究と社会科学的な研究をもとに、野生動物管理システムの構築を行っている。	

以上 33 名

## ■株式会社ナガセについて■

1976年創立。大学受験向け予備校の東進ハイスクール(首都圏を中心に92の直営校)や、全国47都道府県に約850校舎を配す東進衛星予備校(フランチャイズ契約)を展開。質の高い授業と革新的な学習システムによって、東大現役合格600名(東大現役合格者の30.3%が東進生)など高い合格実績を実現し、現在では約12万人の現役高校生が通う、日本最大規模の予備校です。グループには、中学受験の四谷大塚、イトマンスイミングスクールを配するほか、大学生・社会人を対象に東進ビジネススクールを開講。

また、2010年10月より「セサミストリート」の教材を使用した幼児・児童向け英語教室「東進こども英語塾」を開校。「独立自尊の社会・世界に貢献する人財を育てる」を教育目標とした幼小中高大一貫教育サービスを展開しています。

---

### <本件に関するお問い合わせ先>(報道機関用)

株式会社ナガセ 広報部:市村、加藤

〒180-0003 東京都武蔵野市吉祥寺南町1-29-2

電話 0422-44-9001 FAX0422-44-9129

ホームページ [www.toshin.com](http://www.toshin.com) E-mail [pub@toshin.com](mailto:pub@toshin.com)